

「令和2年度おきなわ国際協力人材育成事業」
国際協力理解促進事業《学校訪問・オンライン講座》実施要領

- 1 実施目的：我が国が行う国際協力の理解を深めるため、国際協力の専門家や青年海外協力隊経験者等による県内の学校訪問を行い、学生を対象とした講義、ワークショップを実施する。
- 2 実施期間：2020年9月～2021年2月初旬
- 3 実施回数：20回（予定）
- 4 実施予定校：20校程度（うち中学校1校以上）（予定）
 - (1) 県内高等学校
 - (2) 中学校、その他希望する学校
- 5 実施内容：

実施プログラム案（50分バージョン）

※プログラム内容、実施時間等については、受入先学校の希望に対応した講座を実施

時間	内容	ねらい
5分	導入	身近とは言えない途上国や国際協力の話を聞く体制を作る。
15分	講義「沖縄と国際協力」	沖縄が国際貢献に取り組む理由や国際的課題等についての理解を深めてもらう。
25分	a.国際協力レポーター体験談	同世代の高校生が、海外研修を通し国際協力の現場等で何を感じたのかを知ってもらう。 ※在校生のレポーターOB・OGによる発表か、映像による紹介を選択
	b.国際協力専門家体験談 (青年海外協力隊員等)	途上国での国際協力実体験をもとに国際協力の必要性を学ぶ。
5分	アンケート記入	受講者の感想

- ① 2019年度の本事業参加生徒である国際協力レポーターOB・OGが在籍している学校での講座の場合、レポーターOB・OGに体験談の発表、レポーターOB・OGインタビュー映像教材による紹介など、実施について学校側と調整する。（本事業には、国際協力レポーターOB・OGが自ら体験談発表する場を提供することで、グローバルリーダーの育成に繋げるため、可能な範囲でご協力をお願いする。）
- ② 2コマ確保できた場合は50分の講座と併せ100分の授業とし、国際理解ワークショップなどを実施する。
- ③ 対面での講義の際は、沖縄県が定める新型コロナウイルス感染防止に係るガイドラインを遵守する。また、学校からの希望に沿い、オンラインでの講座にも対応する。
- ④ アンケート案別紙参照

以上

ワークショップ一覧

教材・手法名	テーマ	内容	対象人数	所要時間
世界がもし100人の村だったら	世界の多様性、現状	世界には約70億の人がいますが、それを100人に縮めてみたらどうなるでしょうか？メールメッセージで広がった「世界がもし100人の村だったら」を使い、実際に身体を使いながら世界の格差や多様性を体感します。	40人～120人	50分～70分
レヌカの学び	多文化共生	「レヌカ」とは、ネパール人女性の名前。彼女が研修で日本へやってきた。日本で過ごしているうちに彼女は、ネパールにいたときとは別人のようになっていく経験をカードゲームを通して実感します。	調整可	45分
SDGsワークショップ	SDGs、沖縄発の国際協力	JOCA沖縄が、沖縄県内の国際協力実践団体や協力隊員の活動事例を集め、「沖縄発の国際協力」をSDGsの17のゴールそれぞれに当てはめて作ったカードを使って学ぶことができるワーク。SDGsって何？自分にできることは何か？をワークをとおして、知り、考えていきます。	調整可	60分～90分
ちがいのちがい	価値観、異文化理解	あっていい違いとあってはいけない違いとは。様々な価値観に触れ、社会の多様性と、社会課題について、考えるグループワーク	～30人	60分
JICAフォトランゲージ	異文化理解等	世界7ヶ国(クック諸島、ケニア共和国、トルコ共和国、バングラデシュ人民共和国、フィリピン共和国、ペルー共和国、マリ共和国)の生活や文化を映した35枚の写真で構成されており、写真から現地の生活を読み解き、互いの先入観や価値観の違いなどを理解します。	調整可	45分
貿易ゲーム	南北問題、グローバリゼーション	紙(資源)や道具(技術)を不平等に与えられた複数のグループ(国家)の間で、できるだけ多くの富を築くことを競う貿易のシミュレーション・ゲーム。貧困問題は、貧しい国だけの問題なのか、世界の国々のつながりや、「貿易」がもたらす貧困化への状況を疑似体験できます。	30人～70人	90分
フードマイレージ	食料自給率	フードマイレージの考え方を理解し、に保温のフードマイレージが高くなった原因を考え、その良い点、困る点を考えます。日本の職を取り巻く状況をこれからどうしたらよいか考えるプログラムです。	調整可	90分
JOCA地球体験学習教材	「違い」「平等」「環境」「命」「愛」「生きる」	「違い」「平等」「環境」「命」「愛」「生きる」をテーマに、写真をじっくりと見て行う活動です。共感的な理解や想像力を高める、物事の多様性に気づく、無意識のうちに持っている偏見や固定観念に気づくなどの効果があります。	調整可	45分
即興演劇	他者理解 コミュニケーション	即興演劇の考え方、ワークを通じて他者を理解していく、そのプロセスの中で自分を知ることの一步を踏み出すワーク。Accept and offer:受け入れること、伝えること考えを大前提において、心のブレーキを感じてみます。コミュニケーションの研修として近年日本でも注目を集めている手	～30人	60分
スマホから見る世界とSDGs	世界の現状、格差社会、SDGs	身近なスマホを題材にし、クイズやカードゲームを使って、世界と自分がどう繋がっているかを学びます。何気ない私たちの生活が、違う国のどこかに影響を与えていることを知り、一人の地球人として、自分の考えや行動を見直してみるきっかけをつくるワークです。	調整可	60分～90分
ティフ星人はパセリを食べる	民族支配、植民地化	ある日、「宇宙人」がやってきて、「地球人」に無理難題を押し付けます。「地球人」は町や村ごとに話し合い、宇宙人と交渉を試みます。	16～30人	100分～120分
地球の食卓	食、グローバル化	食から広がる10のテーマ(文化・宗教の多様性、エネルギー、ごみ、グローバリゼーション、ライフスタイルの変化等)について学びます。(フォトランゲージ)	調整可	60分
沖縄移民	沖縄移民、多文化共生	沖縄移民(沖縄)の歴史、文化の多様性、日本国内での多文化共生について、沖縄の人々の移動から学びます。	調整可	60分